



— 休眠預金事業の取り組みについて —

山ノ内町社会福祉協議会は、令和6年度原油価格・物価高騰、子育て及び新型コロナ対応支援枠（休眠預金事業）に応募し事業採択されたことを踏まえ、町内の生活困窮世帯や社会的孤立の方などを対象に日常生活を支える仕組み作りに取り組んでいます。



この休眠預金事業とは、金融機関の口座で10年以上出し入れが確認できない休眠預金を、民間公益活動の促進のために活用する制度であり、令和元年から始まりました。

本事業では、生活困難課題を抱える人々の日常生活支援として、食料品・日用品をまとめた生活支援パックを提供しています。今後も町社会福祉協議会では、地域住民のため地域福祉の充実に取り組んで参ります。



— 食品アクセス緊急対策事業 の取り組みについて —

農林水産省の令和6年度食品アクセス緊急対策事業に応募し採択され、10月より事業実施することとなりました。

この事業は、多様な食料の提供等を通じて、国民の円滑な食品アクセスを確保するため、地域の関係者が連携して組織する協議会の設置、地域における現状・課題の調査、問題解決に向けた計画の策定・実行等を行う先行的な取り組みを推進するものです。

全国的に高齢者を中心とする食料品の購入に不便や苦勞を感じる方、いわゆる『買い物困難者』が社会的課題となっています。既に町内では平成23年から買い物困難者支援として『わくわく商店街』事業を関係機関並びに各団体のご理解とご協力をいただきながら実施しておりますが、それに加えて本事業を推進することにより、一層の支援拡充を目的としております。

なお、本事業の実施にあたり各種のアンケート調査を行いますが、その際には皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

News

ふれあい広場開催！

～多くの方のご来場、ありがとうございました！～

9月29日に、つつみ住民活動センターを会場に第35回ふれあい広場が開催されました。

当日は天気にも恵まれ、多くの方に足を運んで頂きました。

中庭では関係団体による出店、わたがしやきのこ汁の振る舞いの他、ステージ発表もあり来場者は足を止めて発表を観覧されていました。



また建物内では家庭用ゲーム機を使い、子どもから高齢者まで楽しめる「eスポーツ」のコーナーが設けられ、多くの方が体験していました。

このイベントをきっかけに、一人でも多くの方が社協の事業に関心を持ってもらえれば幸いです。

令和6年度社協会費報告

～ご理解とご協力ありがとうございました～

(令和6年10月31日現在)

会費は地域福祉の推進を図るための貴重な財源となります。今年度もご賛同いただいた会費は、地域に密着した地域活動、ボランティア活動の支援等、住民の皆様が安心して暮らせる福祉のまちづくりのための事業に大切に使用させていただきます。

特別会費	0件	0円
法人会費	66件	660,000円
賛助会費	56件	190,000円
一般会費	2,653件	2,497,557円
合計	2,775件	3,347,557円

～社協の予定～

11月

12	火	結婚相談所
13	水	わくわく商店街 (御代田町社協様視察受入)
14	木	ほのぼのランチ
15	金	脳元気教室
16	土	佐野長寿ふれあい会
17	日	
18	月	社協中間監査会
19	火	手芸教室 結婚相談所
20	水	
21	木	ほのぼのランチ ほのぼのランチグループ 視察研修 (木島平村)
22	金	脳元気教室
23	土祝	【勤労感謝の日】デイサービス等祝日営業
24	日	
25	月	
26	火	結婚相談所
27	水	わくわく商店街
28	木	ほのぼのランチ
29	金	脳元気教室
30	土	町日赤奉仕団研修会 (町文化センター3階講堂)
1	日	★山ノ内町社会福祉大会★
2	月	
3	火	結婚相談所(14:00~20:00)
4	水	
5	木	ほのぼのランチ
6	金	脳元気教室
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	結婚相談所

12月

★ご寄付をいただきました★

みなさまのご芳志に心よりお礼申し上げます

匿名様 10,000円

お寄せいただいた寄付金は社会福祉基金に積立し、福祉事業に役立たせていただきます。温かいご芳志、誠にありがとうございます。

☆ご寄付をいただきました☆

山ノ内町ゲール愛好会様 244,958円
(会長：宮津鉄男様、副会長：山崎数幸様、事務局：水嶋澄夫様)



20余年に渡り、「認知症予防及びその改善をめざし心身機能の活性化をはかり、子どもから高齢者・障がい者まで楽しく喜び合える三世代交流スポーツの普及に努め生きがいのある人生を送ること。」を目的にゲールゲームを愛し楽しんだ会が解散となり、令和6年10月17日に残預金を社会福祉基金へご寄付いただきました。



編集後記

現在、町社協では様々な助成金事業の活用が進んでいます。その基礎にあるのは、関係機関やボランティアの皆様、そして地域の皆様からの長年に渡るお力添えによるものです。

「福商連携」「福農連携」など地域福祉事業を起点にした地域活性化に繋がる取り組みについて、自分としても今まで以上に頑張っていきたいと思っています。(MT)

社 是 安全・尊厳・満足 =地域住民のみなさまと共に歩む社協=

- 福祉通信ちからこぶ 令和6年11月11日発行
- 発行者 社会福祉法人山ノ内町社会福祉協議会
- 〒381-0401 長野県下高井郡山ノ内町大字平穏 3371-2 (山ノ内町地域福祉センター内)
TEL 0269-33-1105 FAX 0269-33-8413
- URL <http://www.honobono-shakyo.or.jp>
- E-mail info@honobono-shakyo.or.jp

